

# お盆

## ご先祖さまへの感謝を

お盆は、ご先祖さまを

お迎えして、ご供養し、

感謝の気持ちを伝える行事です。

期間は7月13日から15(16)日、

地方や地域によっては

8月13日から15(16)日です。

## 準備をしましょう

お盆には、「精霊棚」という

特別な棚を設えて

ご先祖さまをお迎えます。

設え方は、地域や家庭、

菩提寺によっても

異なる場合がありますが、

お供えものとして

よく飾られるのが、きゅうりとなすです。

ご先祖さまに早くきてもらえるように

きゅうりで馬を、

のんびり帰ってもらえるように

なすで牛を作って飾ります。

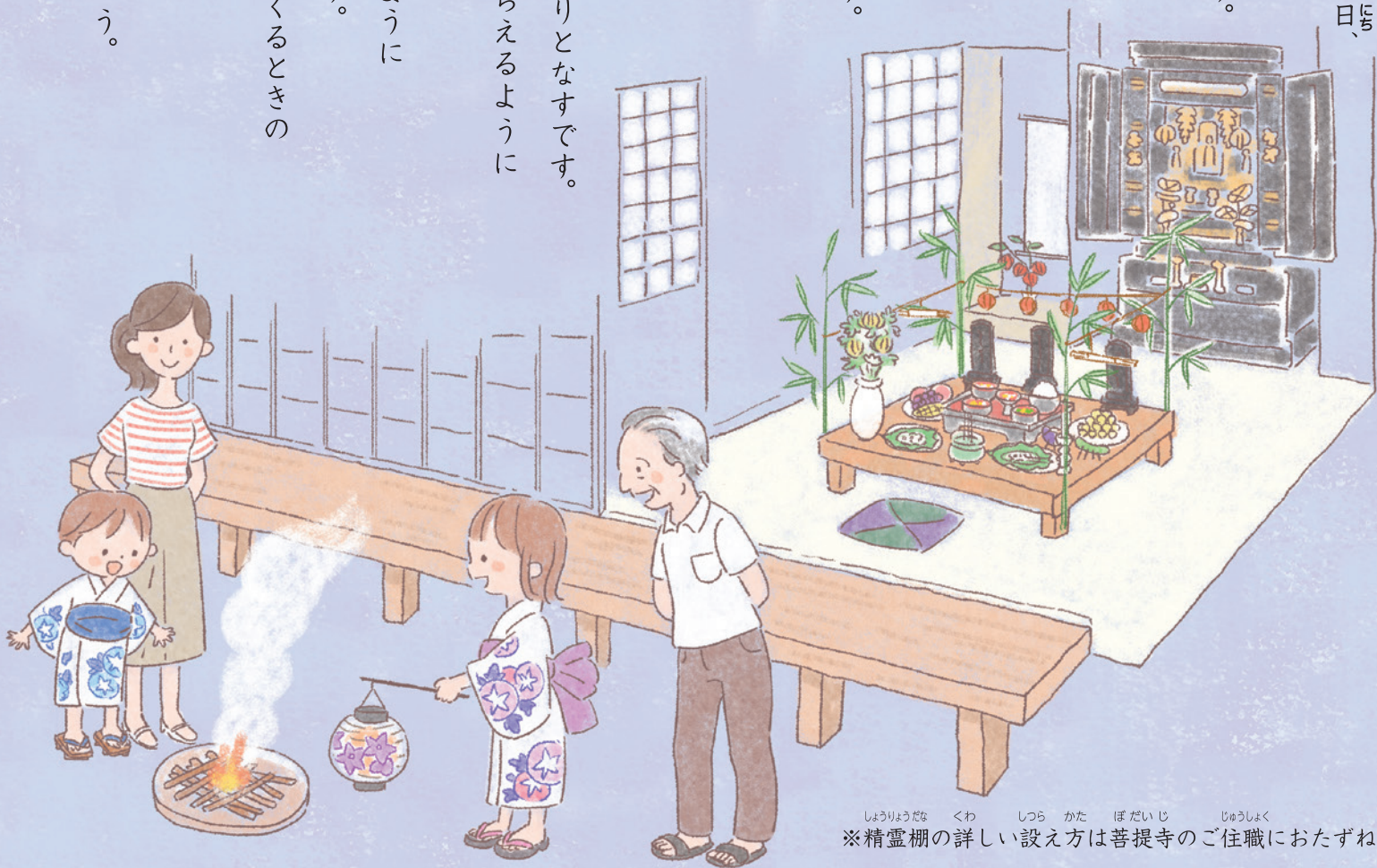
また、ご先祖さまが帰ってくるよきの

目印になるよう、

色や形が提灯に似ている

ほおずきも飾り付けましょう。

お盆の入りの日には、ご先祖さま  
を迎える目印として、玄関先や庭  
などで、「迎え火」をたきます。また、  
お盆の終わりには、お帰りになる  
ご先祖さまをお見送りするため、  
「迎え火」と同じように「送り火」を  
たきます。



しゅうりょうだな くわ しつら かた ぼだいじ じゅうしよく  
※精霊棚の詳しい設え方は菩提寺のご住職におたずねください。

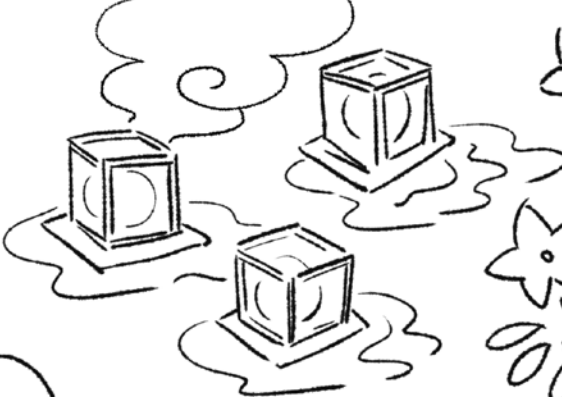


ぬりえ

ごせんださまと、またあえる

# おぼん

「おかえりなさい」のきもちをこめて、「むかえび」。  
「またあおうね」のきもちをこめて、「おくりび」。  
おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃんと  
いっしょにてをあわせましょう。



ありがとう

きゅうりのおうまさんにとって、  
おじょうどからはやくこれますように。  
なすのうしさんにとって、  
ゆっくりのんびりおじょうどに  
かえれますように。

いつもみまもってくれているごせんださまへの  
「ありがとう」のきもちと、  
らいねんもおぼんをむかえられるように  
「またね」のきもちをこめて、  
てをあわせて「なむあみだぶ」。

またね

